

アイジェノミクスの PGT-A 特長 2

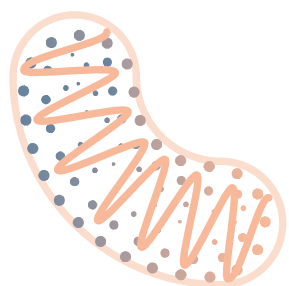
世界で初めて人工知能 (AI) を搭載

年間数十万件のビッグデータを AI に学習させ、
診断アルゴリズムに活かしています。
これにより主観という変動要因を大きく
低減しています。



アイジェノミクスの PGT-A 特長 3

ミトスコア (当社オリジナルのスコアリング) による 移植推奨基準



ミトスコアは、アイジェノミクスが開発した
ミトコンドリアバイオマーカーで、
胚のエネルギー状態の指標となるものです。
ミトスコアにより、着床の可能性が最も高く、
体外受精 / PGT-A による妊娠の可能性が
より高い胚の選択をサポートします。

(Diez-Juan et al., Fertility and Sterility® Vol.104, No.3, September 2015 0015-0282)

アイジェノミクスの PGT-A 特長 4

PGT-A 検査に対する厳正な品質管理

アイジェノミクス・ジャパンは PGT-A の検査を日本のラボで実施しています。
また、私たちは現行の PGT-A 検査を提供するために、以下のことを行っています。

- ・ 外部精度管理として、GenQA の認証取得
- ・ 部分欠失 / 重複と異なるレベルのモザイクを正確に検出するため、
分解能の限界を明確化
- ・ バイオインフォマティクス・パイプラインと診断アルゴリズムを作成し、
分析報告時に主観が入る余地を低減

株式会社アイジェノミクス・ジャパン

〒105-0011 東京都港区芝公園 1 丁目 3-1 留園ビル 2F
TEL: 03-6667-0456 FAX: 03-6667-0455
E-mail: servicejapan@igenomix.com
www.igenomix.jp

2025-0037JP

Igenomix®
PART OF VITROLIFE GROUP

患者さんのために、
貴重な胚を1つでも多く救いたい



Smart
PGT-A

不妊症および不育症を対象とした
着床前遺伝学的検査

胚染色体モザイクは、同じ栄養外胚葉 (TE) 胚生検において、正倍数性と異数性の両方の細胞が存在することと定義されています。この事象は体外受精で作られた胚で観察されており、妊娠中における真のモザイクの有病率は 1-2 %^{*1} です。

PGT-A で使用されている現在の次世代シーケンサー (NGS) プラットフォームによりモザイクを同定することが可能です。一方、その胚のモザイク率は、解析方法の違いなどから分析機関ごとに異なります。^{*2}

この違いは、**移植に適していると報告される胚の数**に影響します。

このように分析機関でモザイクの発生率に大きな違いがみられる理由として以下が考えられます。

TE 生検により得られる
細胞の数や質が異なること

NGS 解析の技術的な限界により、
分散が大きい場合や、ノイズが真の
モザイクと区別できない
場合があること

分析機関により使用されている
モザイク分類の基準の違い

^{*1} Nathan R et al., Fertility and Sterility® Vol. 116, No. 5, November 2021 0015-0282

^{*2} D. Leigh et al., RBMO VOLUME 45 ISSUE 1 2022

アイジェノミクスの PGT-A 特長 >>>>